

進化と継承

福井県議会議員

笹原修之 NEWS

みなさまの声を
県政に届けます

日頃より福井県政の発展に向けた活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年1月1日16時10分、能登半島を震源地とする震度7の大地震が発災しました。犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

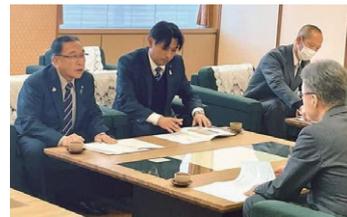
3月16日には、50年来の悲願である北陸新幹線が福井県に延伸し、新幹線の芦原温泉駅が開業いたしました。開業に関わられた先人に敬意を表するとともに、工事に関わられた関係各位に心からの御礼と感謝を申し上げます。北陸新幹線総延長700kmの残り2割となる敦賀以西・大阪までの早期完成に向けて引き続き尽力するとともに、この開業が福井県の明るい未来への幕開けとなることをご祈念申し上げます。

2024
能登半島地震



この度の地震ではあわら市でも震度5強を観測し、市内各地で建物や農業施設等に大きな被害を受けました。特に北潟地区では液状化による家屋や農地への被害、北潟湖岸堤防の傾斜や湖周管理道路の損壊、また名泉郷地区では道路崩落による土砂災害、あわら温泉街では旅館の施設等にも被害が出ました。国の災害復旧事業に申請することで、1月4日には滝波宏文参議が、5日には稲田朋美衆議が現地視察に入られました。

1月17日には、森市長とともに被災者生活再建支援、事業者に対する無利子貸付や復旧費用補助、生活関連インフラ復旧支援等の要望書を杉本知事に渡し、県から緊急被災者支援金や被災者住宅再建支援金等の支援を受けることができました。また、自民党本部に赴き、森山総務会長にも震災支援要望書をお渡ししました。国からは「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ」が制度設計され、素早い対応に改めて感謝申し上げますとともに、被災された皆様の1日も早い復旧・復興をお祈りいたします。



杉本知事に被災状況を説明



自民党森山総務会長に要望書を提出



稲田朋美衆議と視察同行



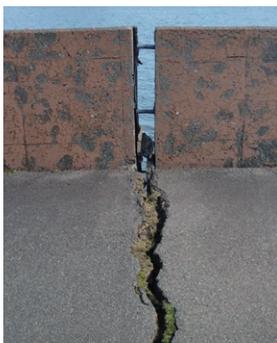
滝波宏文参議と視察同行



名泉郷地区の道路崩落



滝地区の家屋被害



湖岸堤防と管理道路の亀裂



管理道路の地盤沈下



北浦市議と現場視察



北潟西地区家屋の液状化



山室地区の耕作地被害

令和6年 能登半島地震からの復旧・復興について

Q. 今回の能登半島地震では、特に国道305号と北潟湖の間が液状化し、堤防は傾斜し、管理道路は大きく損壊、そして沿岸一帯において地盤沈下が発生するなど、住民の生活に大きな影響を及ぼしましたが、北潟湖沿岸の堤防や、管理道路の修復につきまして、被害状況と復旧の見通しについて県の所見を伺います。

A 土木部長

北潟湖沿岸では12箇所合計約1.3kmが被災しており、約0.3kmの護岸の傾斜、また約1.3kmの管理用道路の沈下や亀裂などが発生しております。このため、被災後において速やかに測量・調査・設計を実施し、3月5日から8日にかけて、国の災害査定を受け、入札等の手続きを経た上で、来年度の早期から本格的な工事に着手してまいります。

Q. 地震の影響は観光業にも及び、旅館やホテル・民宿では発災直後から予約キャンセルが相次ぎました。「北陸応援割」については期間が短すぎる上、国の予算(約8億円)はすぐに尽きてしまうのではないかと懸念があります。被災した宿泊施設への切れ目ない長期的な支援が必要と考えますが県の所見を伺います。

A 交流文化部長

「北陸応援割」は、2月6日に知事から国に予算の増額及び制度運用について要望を行いました。「今回は熊本地震と同等程度の支援であり増額は難しい」と回答がありました。プレミアム商品券「ふくたす」で消費回復支援を図り、民間事業との相乗効果を図りながら、秋の北陸DCに向けて長期的視点で応援してまいります。

Q. 観光復興には、施設の復旧、従業員の雇用維持、資金繰り支援、旅行需要喚起など様々ありますが、国は「なりわい補助金」、「小規模事業者向け持続化補助金」、「雇用調整助成金」等の活用を検討しています。「北陸の観光地復興は、福井県がリードする」と知事は明言されましたが、どのように牽引していくのか、知事の所見を伺います。

A 知事

福井県としては「がんばろう北陸」を合い言葉に、全力で北陸全体の応援をしていきたいと考えています。あわら温泉女将の会と大宮駅でPR活動をしたり、東京二子玉川で加賀地域と福井県の観光物産展を開いたり、さらには大阪観光局ともタイアップを始めるところです。4県で足並みを揃えながら、北陸全体の復興支援、観光ムードの盛り上がりに向けて努力してまいります。



笹原的まとめ

県の力強い支援で、能登半島地震からの一日も早い復旧・復興を期待しております。



男女共同参画における男性の家庭進出について

Q. 「女性活躍推進企業の拡大」や「女性のキャリアアップ支援」には大きな成果が表れている一方で、「女性管理職の割合」や「出産直後の育児休暇の取得率」は目標値に届かない等、まだまだ課題がありますが、男性も女性も輝くことができる福井県の実現には、男性の家庭進出の促進が、女性活躍社会の推進に繋がると考えますが、驚頭副知事の所見を伺います。

A 驚頭副知事

女性が働きやすく、両立しやすくするためには、家庭における男性の家事・育児の参加が非常に重要であると認識しておりますが、大切なのは、家事・育児と仕事等の両立について、家庭内でしっかりコミュニケーションを取ることだと思っています。共家事や育児休暇などを通じて、話し合うきっかけとなるよう、私自身も男性の家事・育児参加の重要性を訴えてまいります。

Q. 女性活躍推進の施策は豊富ですが、男性の家庭進出に向けた施策は少ない気がします。人気が高い「男性の料理教室」のように、男性の家庭進出支援策を拡充することで、男性は積極的に家事・育児に関わることができ、女性もゆとり時間の増加に伴い気持ちに余裕ができ、女性の社会進出や管理職割合の増加に繋がると考えますが、県の所見を伺います。

A 未来創造部長

女性が管理職への昇任を望まない理由は「家事、育児、介護の負担が男性に比べて大きいこと」が一番多く、女性の負担軽減を図ることで、様々なチャレンジへの意欲につながると考えております。また、働きやすい職場環境づくりや、女性の育成・登用など企業の経営改革も必要不可欠であります。引き続き、女性も男性もゆとりを持って、自分らしく挑戦できる社会づくりに努めてまいります。

Q. 福井県の子育てを支援する仕組みは全国でもトップクラスですが、男性が子育て支援センターを平日利用するのは難しく、男性の育児相談窓口が限定的であり、男性の育児参加が難しい原因でもあります。男性の育児に対する学びの機会を増やすためにも、子育て支援センターの土・日開所について検討してみたいかと思いますが、県の所見を伺います。

A 健康福祉部長

子育て支援センターの土・日開所については、現在7市町で行われていますが、職員の確保や財政負担などの課題もある為、県としては男性が参加しやすい学びの場を増やせるように、市町と連携してまいります。また、男性の家事・育児参加を進める「男性育児促進企業奨励金」の強化や、役割分担の重要性などを従業員に伝える「男性育児アドバイザー」の派遣を考えております。



笹原的まとめ

男女共同参画の推進で、人口減少社会の課題を少しでも解決できることを期待しています。

再生可能エネルギーの推進について

Q. あわら市沖洋上風力発電事業は「一定の準備段階に進んでいる区域」に指定されております。昨年5月に国に提供した情報提供書の内容では「有望区域」に選定されませんでした。国からはどのような説明を受けたのか、また、有望区域選定に向けた課題を解消するためにどのように進めていこうとしているのか、知事の所見を伺います。

A 知事

「有望区域」に指定されるためには、利害関係者を特定して協議会を開始することに同意を頂く必要があります。国からは、この利害関係者のすべての同意が十分に得られていないという理由で留まったと伺っています。今回の区域は県境であり、漁業者や商工・観光事業者の理解を得ていく必要もあります。今後も、関係者との意見交換を継続かつ丁寧に行い、理解の醸成を図ってまいります。

Q. 昨年12月15日には、利害関係者である「あわら・三国・加賀」の漁業者との意見交換会が開催され、本年1月17日には、観光事業者や商工事業者とも意見交換をされたと聞いておりますが、各利害関係者からはどのような意見が出たのか、また、県は今後具体的にどこに対して、いつ頃までに、どのように動いていくのか所見を伺います。

A エネルギー環境部長

漁業関係者からは「洋上風力の設置に伴い漁場の消失が懸念される。漁獲量変動の可能性などについて、事業を実施する前に調査をすべき」、観光・商工関係者からは「地元の雇用や事業者に対するメリットを提示してほしい」等の意見を伺いました。県では現在、有識者からヒアリングや先行地の取組事例等も収集しています。今後、地元への経済波及効果調査なども実施しながら、引き続き関係者の懸念事項や課題に対する解決策を検討し、理解促進に努めてまいります。

Q. 洋上風力発電には港湾や工事ヤードの整備、また監視塔や送配電設備など様々なハード整備が必要ですが、福井港およびその周辺地域には求められるポテンシャルが十分あります。福井港を洋上風力に対応できるように改良し、将来的にはテクノポート福井を含めた一帯を、カーボンニュートラル関連産業拠点として成長を目指すべきと思いますが、県の所見を伺います。

A 土木部長

洋上風力発電の建設において、製品の組立てや積出しの為に必要な福井港の岸壁やヤードの整備に関して、現在、国土交通省や関係者と協議を進めております。また、テクノポート福井への進出は、企業誘致補助金の対象としているほか、県内企業の脱炭素関連技術開発に向けて、産総研とも連携しながら、県内での新たな産業の創出に努めてまいります。



従原的まとめ

カーボンニュートラル社会に向けた、環境にやさしい
持続可能な福井の創造を期待しております。



1月22日 富山県入善町沖洋上風力発電を視察

富山県入善町は人口約22,000人の町です。もともと入善町浄化センターに自家発電用の陸上風車が立っていたこともあり、風車と自転車活用による観光地域づくり「富山湾ナショナルサイクルルート」で観光振興に結び付けようということで、民間出資会社による入善洋上風力発電が事業化されました。この洋上風力発電は、一般海域での公募制度が始まる前のもので、富山県の占有許可を得て事業を開始しました。発電量は3,000kWの着床式風力発電が3基で、約3,600世帯分の年間消費電力を賄えるそうです。

次は、新潟県との県境となる富山県東部沖にて洋上風力を計画しており、再エネ海域利用法対象地という点で福井県あわら市沖と似たような環境です。こちらにあわら市沖と同様に、漁業者との意見交換や環境調査依頼が来ているそうです。



入善マリンウィンドウの管理棟



事業運営会社より説明を受ける



入善町キラキラ商工観光課長より説明を受ける



入善町役場にて鍋嶋慎一県議との意見交換

入善町沖洋上風力発電所建設工事

風車施工位置周辺図



普段どういう活動をしているの？

笹原修之の活動報告

【2024.1▶3】抜粋

詳細は
facebookを
ご覧ください。



1月 富山県黒部宇奈月温泉駅を視察



1月 本荘公民館の新春豆まき祭



2月 あわら市商工会異業種交流会



2月 芦原温泉旅館協同組合年賀会



2月 県政功労者表彰式



2月 阪南大学の研究成果発表会



2月 福井県森林組合連合会政策懇談会



2月 あわら市生涯学習推進大会に出席



2月 坪江愛林会通常総会



2月 劔岳文化共栄会総会



2月 坂井北部土地改良区第61回通常総会



2月 あわら市青壮年団体連絡協議会研修会



2月 笹原修之の県政報告会



3月 金津高等学校卒業証書授与式



3月 福井県看護協会との意見交換会



3月 不法投棄の古タイヤ処理を視察



3月 あわら湯けむり映画祭授賞式



3月 北潟漁業協同組合総会



3月 北陸新幹線金沢



3月 あわら市「新幹線歓迎会」



3月 北陸新幹線金沢-敦賀間しゅん功開業式・祝賀会



3月 あわら市はたちのつどい



3月 エネ庁・国交省・環境省と意見交換



3月 オダイバ恐竜博覧会2024

県政についてのご意見・ご要望をお聞かせください!!

明るい未来を目指して。福井新・時代

福井県議会議員 笹原修之

笹原修之 検索

【事務所】〒919-0632 福井県あわら市春宮三丁目19-15 (ハロープリント内)
TEL 0776-73-4513 / FAX 0776-73-1036 E-mail:sasahara@helloprint.co.jp

日々の活動を随時更新中!

facebook

ホームページ

